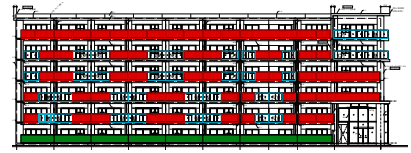


CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	03-浜甲子園団地第IV期南工区建築その他工事(6棟)	階数	地上6F
建設地	兵庫県西宮市	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、防火地域指定なし(法22条区域)	平均居住人員	150人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2022年10月21日
敷地面積	2,291㎡	作成者	佐藤暁
建築面積	897㎡	確認日	2022年10月21日
延床面積	3,084㎡	確認者	林孝行



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

① 参照値 100%
② 建築物の取組み 88%
③ 上記+②以外の 88%
④ 上記+ 88%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.4

音環境	2.4
温熱環境	3.8
光・視環境	3.1
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

機能性	2.6
耐用性	3.1
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 4.1

生物環境	4.0
まちなみ	5.0
地域性	3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.2
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	2.9
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

地球温暖化	3.4
地域環境	2.5
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 ・敷地内に緑地、広場を確保し、隣工区(A棟)と色彩計画、外観デザインをそろえる、圧迫感の軽減のため交差点に面したまちかどにピロティを設けるなど周辺環境に配慮した計画とした。		その他 0
Q1 室内環境 ・シックハウス対策として、内装材にF☆☆☆☆のものを使用した。	Q2 サービス性能 ・設備配管等を点検しやすいように、点検口等を設けている。	Q3 室外環境(敷地内) ・景観アドバイザー会議やデザイン協議会を行い、周辺環境に配慮した計画とした。
LR1 エネルギー ・日本住宅性能評価表示基準の省エネ等級4の取得を目指した。	LR2 資源・マテリアル ・節水型便器を採用し、節水に努めた。	LR3 敷地外環境 広告物照明を行わないなど周辺への光害に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される